

小一中連携 両荘みらい学園プレカリキュラム (SDGs 講演会)

6月19日(月)に、両荘中学校において、平荘小学校と上荘小学校の高学年が両荘中学校の生徒と一緒に、SDGs講演会に参加しました。

なかよし学園校長の中村雄一先生と北川夏実先生から『愛デアで夢が実現する世界を』～両荘×なかよし 難民キャンププロジェクト～をテーマにお話を聞きました。



【ルワンダ】

- 『ジェノサイド』という言葉を知っていますか？大量虐殺のことです。
- ロバートは、8歳の時に、昨日まで仲のよかった隣人に、いきなり武器を持って襲われました。殺された家族の中で、ロバートだけが生きることができたのです。《ジェノサイド》
- 自分の力で生きていけないといけません。

中村先生は、「ぼくが兄弟になるよ。」と声をかけられたそうです。

今までずっと仲良くしてくれていた人が急に殺しに来たのです。「行ってらっしゃい」と言っていた家族を亡くしてしまったのです。『ジェノサイド』は恐ろしいものです。



【ウガンダの難民キャンプ】

- 水が大変貴重です。毎日苦労しながら(往復2時間かけて)、水を汲みに行っています。日本の水のようにきれいではありません。苦労しながら汲んできた水は濁った水です。
- みなさんは、いつ、お風呂に入りますか？夜に入る人？朝に入る人？
- ウガンダでは、絶対に朝お風呂に入ります。しかもウガンダのお風呂は冷たい水です。

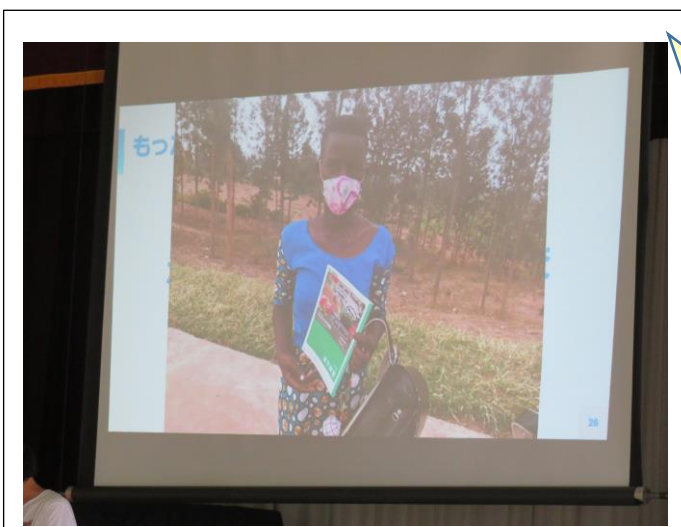
- みなさん、これは、夕焼けの写真です。みなさんは、この夕焼けの写真を見て、何を感じますか？きれいだなと感じますか？
- ウガンダの人達は、(夕焼けを見ると、)夕焼けからの時間は、怖い時間なのです。ウガンダの夜は、寒くて死んでしまうかもしれないのです。
- お風呂に入る時間帯も、ウガンダの人達は、絶対に夜にお風呂(水)には入らないのです。夜にお風呂に入ると、寒くて死んでしまうからです。



【コンゴ民主共和国の難民キャンプ】

- 60Km先で戦争をしている人がいる。次の日、30Km先で戦争をしている人がいる。次の日、10Km先に戦争をしている人が来ている。次に日、5Km先に戦争をしている人が近づいてきている。「逃げた方がいいぞ!」と、難民が逃げ始める。

教育で世界を平和にする



昨年度、中村先生のお話を聞いた両荘中学校のみなさんは、文房具を中村さんに託して、『おさがりサンタクロース』に参加されました。そして、今年も、事前に文房具を集めて、6月19日の当日に、中村先生に、文房具を託しました。中村先生は、「みなさんが、サンタさんです。私（中村先生）は、トナカイです。」とおっしゃいました。

平荘小学校の高学年も、上荘小学校の高学年も、両荘中学校の先輩の活動を直接目にする事ができました。来年度からは、両荘みらい学園で共に学ぶ仲間です。SDGsの学習（平和学習）として、プレカリキュラムを体験しました。

平和の種まき

中村先生たちは、『難民に笑顔を』を実現するために、「食事で笑顔を」「ぬいぐるみで笑顔を」「絵本で笑顔を」と、いろいろとアイデアを出しながら、それを実行して、難民を支援されています。『誰かのために役立つことができる』を実現するために、『セールプロジェクト』や『ドリームツリープロジェクト』を展開されています。子どもたちにとって、中村先生や北川先生のお話が心に響いたことと思います。子どもたちの心に、平和の種まきがまた一つできたように感じました。

